

開催地名	東京都大島町
開催日時	令和5年11月23日（木） 13:00 ～ 14:00
開催場所	大島町開発総合センター大集会室
語り部	犬飼 一博 （愛知県名古屋市）
参加者	地域住民 27名
開催経緯	大島町では11月21日を「大島町防災の日」と制定している。平成25年の土砂災害以降、徐々に避難率や防災意識の低下が課題としてある。 大島町防災の日に語り部による講演会を開催する事で防災意識の向上に繋がると考え、防災意識向上プロジェクトへ応募した。
内容	【逃げ遅れゼロに向けた取り組みの背景】 近年、全国各地で甚大な水害により、逃げ遅れによる被害が多発している。中部地方では東海豪雨以来、広域的な大規模水害が発生していない。また、災害を経験していないことが避難の遅れに繋がっているというデータもある。その様な状況を踏まえ、VRによる浸水疑似体験や人気ゲームソフトを活用した啓発動画などトレンドを意識した啓発ツールを用い、防災に興味のない人を始め、大人から子供、障がいのある人まで、より多くの人に早期避難の重要性が伝わる防災啓発に取り組んでいる。 【過去の大水害とその教訓】 （1）平成25年 台風26号伊豆大島土砂災害 大島町に甚大な被害を及ぼした土砂災害から10年が経過した。その後、様々な復旧・復興事業や災害対策の強化が進められているが、その一方で、歳月の経過と共に目に見えて分かる土砂災害の爪痕が消えつつある中、災害を経験していない子供たちや、災害を認識していない移住者たちが増えている事も事実である。 住民一人一人が、火山噴火に起因した地質や急峻な地形を有する大島町としての特徴を知り、自身で安全を確保し、「自分の命は自分で守る」、「大切な人の命を守る」という意識が重要である。 （2）その他の水害 昭和33年に起きた狩野川台風では、狩野川流域を中心に強雨域が長時間に渡ってほとんど動かず雨が降り続き、狩野川上流域では土石流も発生し甚大な被害が発生した。大島町でも土石流により大きな被害となっている。令和元年東日本台風は、狩野川台風と類似の進路を通過し、東日本を中心に各地で甚大な被害が発生した。 また、昭和34年の伊勢湾台風は高潮による被害が大きく、全国で5,000人以上の命

	が失われた。大島町でも、昭和 24 年のキティ台風では高潮被害が発生している。 近年発生している水害は、たまたま自分たちの住む地域で発生してないだけであり、自分たちの地域でも起きるかもしれないと捉えることが大切である。 また、平成 25 年に伊豆大島に甚大な被害を及ぼした線状降水帯による大雨は、近年多発しており全国各地で被害が発生している。 これらの様に甚大な被害を及ぼす台風や大雨は予測が可能なため、事前に備えをして速やかに避難行動することが大切な命を守ることに繋がる。 (3) 最後に 大島の人口は減少傾向にあり高齢化も進んでいる。そして、災害発生時には、離島であるが故に迅速な支援も厳しいと思われる。また、広域避難も難しく避難場所も限られる。この様な地域の住民として、大島町特有の地形や地質は今も昔も変わらないことを念頭に、過去の災害に学び、島の特性を理解して、常日頃からハザードマップの確認やマイ・タイムラインの作成、非常食や備蓄品の用意など、事前に備えておくことが重要である。そして防災情報に敏感に、1 分 1 秒でも早く避難して欲しい。それと共に、周りの人たちに「逃げて」の声掛けが出来る避難インフルエンサーとして、” 守られる人から守れる人” になって頂ければと思う。
開催地より	犬飼様、本当にありがとうございました。過去の事例紹介やVR体験など、普段経験する事ができない貴重な時間であった。 大島町の災害に関する資料の説明もあり、我々も勉強になった。『守られる人から守る人へ』とても心に残ったキーワードである。